

# 日高川町民報

発行者：日本共産党日高川町支部  
電話：原：55-0322  
山本：57-0668

みなさんのご意見をお寄せください。お待ちしております

# 「洪水とダム神話」②

## 「椿山ダムの実態と今後」

### 7・18水害と 椿山ダム建設の経過

椿山ダムが完成したのは平成元年3月、30年が経ちます。7・18水害を二度とくり返さない「流域の郡市民の願いがこめられたダムでした。

昭和28年7月18日に起きた大水害は、死者298名、負傷者1,470名という記録的な大災害でありました。梅雨前線による豪雨が数日間続き、7月18日の集中豪雨で大量の水が、いつきに川を流れ下り

町会議員

原 たかふみ

ました。この時の連続降雨量は約700ミリといわれていますが、昔ながらの測定方法だったことから正確性を欠き、おそらく1,000ミリは超えていたものと思われまます。『いたるところで、山から水が吹き出



していた」と、体験された方々の証言が、それを物語っています。水害後県は、日高川総合開発計画を策定し、対策にのり出します。その目玉となったのがダム建設でした。余談ですが、この建設に力をいれたのが、当時県会議員だった二階俊博氏でした。また椿山ダムの建設工事を請け負ったのは、準ゼネコンの西松建設で、数年前マスコミをにぎわせた両者の関係は、この時からのもと言われています。さて、県は水害をダムと堤防でもって防ぐこととし、7・18水害の流量を推計し、下流部では堤防、上流にダムを建設することになりました。7・18水害の流量はその痕跡から、松瀬付近で6,000t／

s、椿山付近で約4,500t／sと推計され、椿山ダムを造り、入ってくる水を1／3溜めて3,000t／s流す。そして、松瀬より下流では4,500t／sに耐えられる堤防を造ることが決定されます。単純な計算ですが、これが椿山ダムの操作と河川整備の基本ということでした。

ダムの建設計画が流域に周知された頃、住民の間にこんなウワサが流れましかん。一つでは水害は防げん「しかし、できたのは椿山ダム一つ。どうも当初県も、二つのダムを計画していたようでありまます。龍神の甲斐ノ川と美山の椿山。しかし、甲斐ノ川の計画は住民の反対でとん座し、結局、元の計画より堰堤高を

少しかさ上げして、椿山一本でいくことになりました。何故、二つのダムなのか。流域面積の大きさから椿山ダムだけでは溜めきれない、ということでした。このことは後程詳しく説明しますが、椿山ダムの致命的な欠陥であり、ダム建設をすすめる中で住民に絶対知られたくないことだった訳です。

もう一つ、ダム建設計画の中で当初より変更したことがあります。それは「防災ダム」だったものが、いつの間にか発電と利水も目的とする「多目的ダム」に変えられたことです。このことも、後に大きな弊害を及ぼすことになりました。

### 次回に続く

## 十二月議会速報

町会議員 山本 よしひろ

2019年第四回定例会が、12月6日から13日まで開かれました。

共産党議員団は

- ①災害時の事業者との協力・支援協定の締結、②町営住宅の連帯保証人の廃止、③林道の舗装と維持管理の方向、
- ④グリーンキーパー基金の

- 新たな活用、⑤サル捕獲用大型オリの運用見直し、⑥転入者の地域社会への融和対策、
- などについて質しました。

また①国保特別会計②後期高齢者医療特別会計③介護保険特別会計の3つの特別会計決算の認定に反対しました。

反対の理由は、いずれも利用者（住民）の負担が増えており、県や市町村独自の軽減努力に加え、国が相当の負担をする制度に替えていく、その働きかけを大きくして行くべきだからです。

詳細は次号で



# 中村哲医師をいたむ

アフガニスタンの人道支援に取り組んできた医師の中村哲さん(79)「INGO ペシヤワール会」(福岡市)現地代表Ⅱが4日、同国東部のジャララバードで銃撃を受け亡くなりました。遺体は8日に帰国し、自宅のある福岡市で11日に告別式が行われました。

アフガニスタンのガニ大統領をはじめ、国連のグテレス事務総長も中村さんの死を悼み、銃撃を非難しました。

中村さんは、医師として1984年からパキスタンのペシヤワールでハンセン病治療に従事。その後、アフガニスタン難民の医療支援に携わりました。アフガニスタンが大干ばつに見舞われるなか、2000年からは白衣を脱ぎ、井戸を掘り始めました。その数は1600本。03年からさらに700人の医師よ



り1本の用水路を」と大がかりなかんがい事業を開始しました。全長25キロを超えるマルワリード用水路を完成させるなどして、荒廃した土地1.6万畝以上に緑を取り戻し、約65万がその恩恵に浴しました。

中村さんは機会あるごとに、憲法9条を守る思いを語り、自衛隊海外派兵に強く反対してきました。

01年10月、米国のアフガニスタンでの対テロ戦争を自衛隊が後方支援するための特別措置法の国会審議の際には参考人として出席。

自衛隊派遣は有害無益。特別措置法の国会審議の際には私たちが十数年間かけて営々と築いてきた日本に対する信頼感が軍事的プレゼンスによって、一挙に崩れ去ることはあり得る」と述べました。

安保法制Ⅱ戦争法について



11日、故人の葬儀が故郷の福岡市であった。参加者はゆかりのあった人や支援者らで1300人を超えた。また、入りきれない市民が、会館の周りを囲んだ。

も日曜版 ↑5年7月12日号)のインタビュで厳しく批判していました。

自衛隊が国際NGOを救出できるようにする、駆けつけ警護をするという想定があり得ないことだし、そんなことをすると、助かる命も助からない。支援は、その国の人たちの願いと保護を受けてやれることです。地域の住民や行政と信頼関係を築いて自分たちの安全を保ってきました。それを無視することです」と語っていました。

## 中村哲氏追悼文

日本国憲法が撃たれた

佐高 信

作家・評論家、東北公益  
文科大学教授)



中村さんはいつも、自衛隊派遣が自分たちの活動を邪魔していると言っていた。アフガニスタンで井戸を掘り、用水路を拓くことで築いた信頼関係が、自衛隊の派遣で崩されるからだ。

私は、そんな中村さんを、歩く日本国憲法」と言っていた。平和憲法の下でこそ、日本人であることが安全保障になるからだ。

その日本国憲法が撃たれた今、なおさら 平和憲法」が必要だと強く思う。

中村さんのご冥福を心からお祈りするとともに、彼が生前語っていた平和憲法への思いについて紹介した『反憲法改正論』第12章 アフガンを歩く日本国憲法、中村哲」を、追悼の辞としたい。

## 中村医師銃撃で死去 志位委員長が 哀悼の意

日本共産党の志位和夫委員長は5日の記者会見で、アフガニスタンで人道支援に取り組んできた医師の中村哲氏が現地で銃撃され死亡した事件について、たいへんに悲しい思いでニュースを聞きまし

た」と述べ、心からの哀悼の意」を表明しました。志位氏は、中村氏が大きな危険を伴うなかで、医療や農業などの非軍事の支援に取り組んできたことについて、憲法9条に基づく国際貢献とは何かということをも身をもって体現された方だった」と振り返りました。

その上で、自衛隊の海外派兵の動きが起きたときに、中村氏が日本のNGOによる非軍事の活動が逆に危険にさらされる」として強く反対し、その立場から「じぶん赤旗」のインタビュに応じて何度も紙面に登場したことは、たいへんに心に残っている」とのべ、中村氏を失ったことは、世界にとつての損失だ」と語りました。

